

CIL 豊中による ILP 講座

本校・訪問教育部：進路指導主事

2022年7月13日（水）と14日（木）の2日間にかけて、[CIL 豊中](#)から複数の職員様たちが来校され **ILP 講座**を行っていただきました。ILP（Independent Living Program：自立生活プログラム）講座とは、**障害のある方が自立した生活を送るために必要な知識や体験などを障がい当事者が中心となって教えてくれることです。**それでは早速、当日の様子をご覧ください。

☆障がい者の人権について、福祉制度などについて(7月13日)



☆[徳山辰浩](#)さん

CIL 豊中からたくさんの職員さんが来ていただきました。写真右の車いすに乗っておられる方は理事長の徳山さんです。徳山さんのプロフィールやCIL 豊中の活動への思いは[こちら](#)をご覧ください。。

☆[大岩裕司](#)さん

本校の卒業生でもある大岩さんに相談したことがきっかけで本企画が実現しました。大岩さんには昨年度に進路講話もしていただきました。その様子は[こちら](#)で読んでいただくことができます。

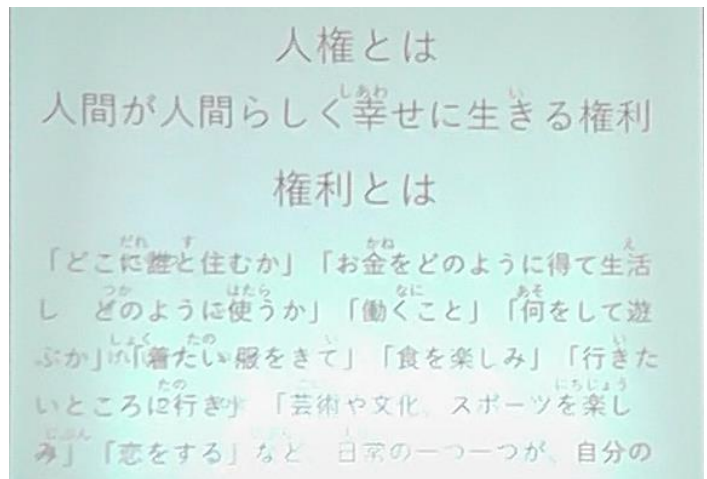
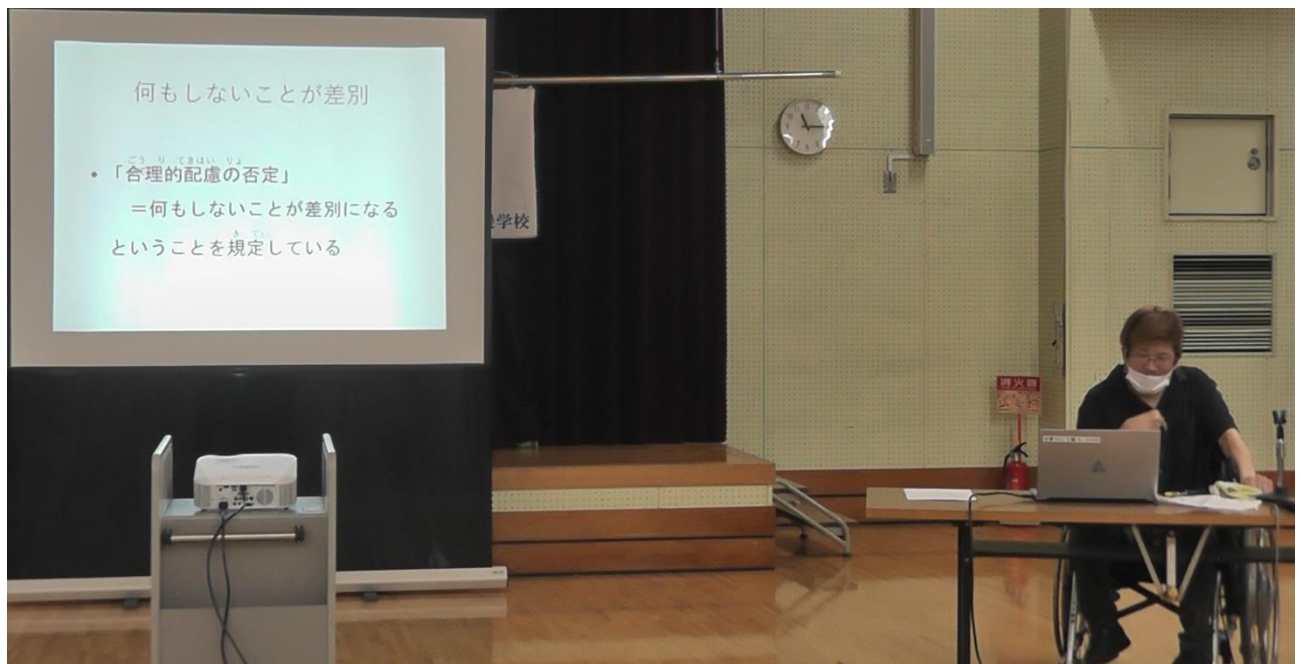




☆自己紹介&他己紹介をしよう！

まずは、初対面の方もいますので、仲を深めために自己紹介をしました。それだけでなく、他己紹介も行うことになりました。

生徒たちは今までにたくさん自己紹介をする機会はありませんでしたが、他己紹介をする機会はありません。相手の自己紹介をただ聞くだけでなく、質問を加えたりしながらコミュニケーションを取りました。ILP 講座では「**自立**」を大きなテーマとして色々な話をしていますが、自立生活において**他者とのコミュニケーションは非常に大切な**のです。



☆障がい者の人権についての話

上田哲郎さんから、障がい者の人権をテーマにお話をいただきました。

1965 年アメリカの東部では、大変酷い環境の大規模入所施設で障がいのある方々が望まない生活を強いられていたという事実を教えてくださいました。さらに、そのようなことは日本も例外ではありませんでした。障がい当事者の方々が体を張って人権運動を行ってきたことで、今日の暮らしや制度があること、今でも差別や偏見はあるということを伝えてくださいました。生徒たちは真剣なまなざしで上田さんの話を聞いていました。



☆福祉制度や社会保障制度などについて

徳山辰浩さんからは、**障害者総合支援法**に基づく福祉サービスの種類や使い方などについて話してくださりました。また、**障害基礎年金**や**特別障害者手当**、**生活保護制度**などについても話してくださりました。

生徒たちは本校を卒業した後、このような制度について正しい知識を持っていれば、きっと自立生活をめざす上で役に立つと思われます。

生徒たちは一日目の感想として「**障がいのある方の過去の運動があって今があることを知って考えさせられました**」「**いろんな制度があることを知って自分でも自立生活できるかもしれないと思いました**」と伝えることができました。

☆発達障がいについて、自立生活クイズ(7月14日)



☆発達障がい当事者からの話

まずは[根箭太郎](#)さんから、発達障がいとはどういうものなのか、当事者としてお話をいただきました。

根箭さんは、他の人よりも変わった感覚を持っているということは幼少のころから気づいていたものの、広汎性発達障害・注意欠陥多動性障害(ADHD)・適応障害であるという診断が下されたのは40歳の頃だったそうです。現在では障害名の表記が変わって、**自閉症スペクトラム障害**、**ASD**と呼ばれています。

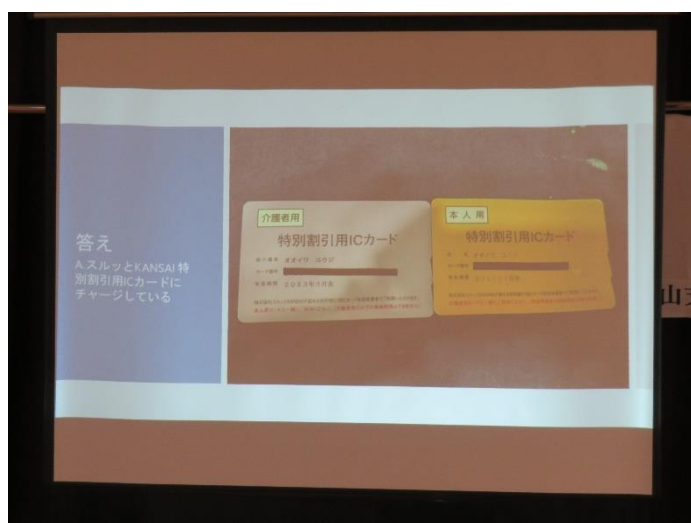
「ハマることはとことんハマるが、ハマらないことはとことんハマらない」「マルチタスクが苦手」など、数々のエピソードを交えて非常にわかりやすく伝えてくださりました。生徒から「障がいがあるなんて全然わからなかった」と感想があったように、**目でわかる障がいと、そうでない障がいがあること**、そしてそれらには**他者の偏見や思い込みが無意識的に生まれやすいこと**などを学ぶことができました。



☆自立生活クイズ！①

次に大岩裕司さんから、自立生活に関するクイズを 10 問用意していただきました。このクイズは、大岩さんが起床してから身支度をして出勤し、仕事を終えて帰宅して就寝するまでのリアルな一日を紹介してくれるもので、生徒たちも興味津々でした。

さらに、クイズに生徒たちがただ答えるのではなく、2 名の相談支援員さんに生徒たちが相談することで一緒に考えてから答えるというものです。ここでも**コミュニケーションが非常に大切**になりますね。



☆自立生活クイズ！②

大岩裕司さんは電動車いすに乗って生活をしています。現在はお家をリフォームされて快適に過ごされていますが、本校を卒業されてすぐの部屋探しでは、「階段や段差がない」「病院にできるだけ近い」などの希望を叶える部屋探しは非常に苦労されたようです。

そんな大岩さんからは「朝、どうやってヘルパーを呼んでいるか」「家の鍵などをなくさないようにどんな工夫をしているか」「通勤のときはどのようにして改札を通っているか」「どのように赤ちゃんと楽しく過ごしているか」などの様々なクイズがありました。同じように電動車いすに乗って生活している生徒たちにとって非常に興味深いものばかりでした。相談をすることで考え方のヒントを得ることができ、正解にたどり着ける場面もたくさんありました。スマートスピーカーやICタグなど最先端のICT機器を活用して日々の生活に役立てているということを知り、良い学びになりました。



☆2 日間の ILP 講座を終えて

自立生活クイズが大変盛り上がったところで、終了の時間となりました。CIL 豊中の皆様には 2 日間にわたって様々な企画を行っていただき大きな学びがありました。

生徒たちの感想文には「この二日間で学んだことは将来の自分にとってとても役立つ情報ばかりで、学んだことをしっかり活かせるようになりたいです」「これから自分はどのような生活がしたいかを考えて、その生活はどのようにしたらできるかを模索し、自分自身の幸せを見つけていきたいです」などの前向きな言葉がありました。

今回の ILP 講座は、あくまでも一例にすぎず、どのような事情があるのか、どのような生活を求めているかによっても、学びたいことは変わると思います。例えば、仕事やお金のことをもっと知りたい、恋愛事情について知りたいという方もおられると思います。「**自立とは何か**」というテーマについて、今後も生徒たちと考えていきたいと思います。